

Syntax and Semantics of the sentences including V-O Compounds in Mandarin Chinese

Aoki Moe

Abstract

This paper focuses on sentences including verb-object compounds in Mandarin Chinese. For example:

(a) Wo sheng ta de qi

‘I make him GEN angry’—‘I angry with him’

Sentence (a) can be paraphrased into verbal expressions in series (Coverb phrase) with the preposition *gen* ‘with’ such as the following:

(b) Wo gen ta sheng qi

‘I with him make angry’—‘I angry with him’

This paper gives the original sentences including V-O compounds explicit meanings by using derivative sentences with prepositions. This paper also uses propositional-logic and predicate-logic to analyze the meanings of sentences including verb-object compounds.

Keywords: Verb-object compounds, coverb phrases, propositional-logic, predicate-logic

現代中国語における“離合詞 A + 代名詞／ 名詞 + 離合詞 B”構造の意味と論理

青 木 萌

要 旨

本稿は以下のような文において生起する離合詞（この文では“生气”）について論じる。

（a）我生他的气（私は彼に対して腹を立てる）

（a）の文の意味はこの形式だけでは理解できないので、前置詞“跟”によって形成される述連構造で次のように表現し直すと容易に理解することができる。このように離合詞を含む文を別の文型に言い換えることによって、もとの文の意味を明示する方法を追求する。

（b）我跟他生气（私は彼に対して腹を立てる）

また本研究では、命題論理（propositional-logic）と述語論理（predicate-logic）を用いて論理式を書き、各用例における離合詞が表す意味、及び他の成分との意味関係について分析する。

キーワード 離合詞 前置詞構文 命題論理 述語論理

0 はじめに

本稿は離合詞の間に動作行為の対象となる代名詞、或いは名詞が挿入された文について詳述する¹⁾。考察の便宜を図り、以下この文型を“離合詞 A + 代名詞／名詞 + 離合詞 B”構文と呼ぶことにする。この文型は、

文脈や発話の場面によって使い分けを要するものの、前置詞構文に変換することができる。朱徳熙（1982：174-175）が述べるように、前置詞は、動作に関わる対象を導く役割を果たす。従って、前置詞を用いての変換分析は、離合詞の間に生起する対象が前置詞の後方に明示されるので、“離合詞 A + 代名詞／名詞 + 離合詞 B” 構文に含まれる意を的確に理解するための有効な考察方法であるといえる。そこで次章は他の研究者による記述を通じて、“離合詞 A + 代名詞／名詞 + 離合詞 B” がいかなる前置詞構文へ変換されるのかを確認することとしたい。

1 “離合詞 A + 代名詞／名詞 + 離合詞” に対する前置詞変換

本章では以下の五つの著作における記述を紹介し、“離合詞 A + 代名詞／名詞 + 離合詞 B” が前置詞構文によって変換しえることを確認する。

1.1 Chao (『*A Grammar of Spoken Chinese*』2011 (1968): 338-339、445-446)

1.2 朱徳熙 (《语法讲义》1982：147-148)

1.3 中山時子 (『中国語離合詞 500』1990：22)

1.4 房玉清 (《实用汉语语法 (第二次修订本)》2008：129)

1.5 王海峰 (《现代汉语离合词离析形式功能研究》2011：193-194)

まず Chao (『*A Grammar of Spoken Chinese*』2011 (1968): 338-339、445-446) を見られたい。なお 1.3 の中山時子の記述を除き、本稿の中国語の用例に対する日本語訳は全て筆者が行った。

1.1 Chao (『*A Grammar of Spoken Chinese*』2011 (1968): 338-339、445-446)

Chao (2011 (1968): 338-339、445-446) の“離合詞 A + 代名詞／名詞 + 離合詞 B” に対する前置詞構文の変換例は以下のような文がある。

- (1) 别开他的玩笑！→ 跟他开玩笑（彼に対して冗談を言う）²⁾
- (2) 打他的岔 → 跟他打岔（彼に対して口をはさむ）
- (3) 借您的光 → 跟您借光（おこぼれを頂戴いたします）
- (4) 赌我的气 → 跟我赌气（私に対して意地を張る）
- (5) 捣他的乱 → 跟他捣乱（彼に対して邪魔をする）
- (6) 帮我的忙 → 给我帮忙（私のために手助けをしてくれる）
- (7) 多他的心 → 对他多心（彼に対して気を回す）
- (8) 见他的面 → 跟他见面（彼と面会する）
- (9) 请他的示 → 跟他请示（彼に指示を求める）
- (10) 革他的命 → 对他革命（彼に対して革命をおこす）
- (11) 如了他的意了 → 给他如意了（彼に意のままにさせてあげた）
- (12) 生他的气 → 跟他生气／对他生气（彼に対して腹を立てる）
- (13) 送他的行 → 给他送行（彼のために送別をしてあげる）

以上の例により、多くの“離合詞 A+代名詞／名詞+離合詞 B”構文が前置詞を用いて変換できることが分かった。なお、変換の際には“跟”、“给”、“对”という前置詞が用いられている。次に朱德熙（1982：147-148）の記述を見られたい。

1.2 朱德熙（《语法讲义》1982：147-148）

朱德熙（1982：147-148）は、目的語を伴えない動目構造において、[受け手]を示す手段を三つ提示した。即ち、

- ① 受け手を二重目的語構造における近置目的語として表す方法……
“说他坏话”
- ② 前置詞を用いて受け手を導く方法……“给他说坏话”
- ③ 受け手を仮性連体修飾語として表す方法……“说他的坏话”³⁾

である。そして朱德熙（1982：147-148）において前置詞“给”構文と

“離合詞 A + 代名詞／名詞 + 離合詞 B” 構文の両方に適応する離合詞は“开玩笑”と“帮忙”がある。例は以下の二つである。

(14) 开我的玩笑 → 给我开玩笑（私に冗談をしてやる）

(15) 帮我的忙 → 给我帮忙（私のために手助けをしてくれる）

1.3 中山時子（『中国語離合詞 500』1990：22）

中山時子（1990：22）は“为”、“给”、“替”、“跟”といった前置詞による変換例を挙げている。

(16) 操你的心 → 为你操心（あなたのために心配する）

(17) 丢我的人 → 给我丢人（私に恥をかかせる）

(18) 帮我的忙 → 给我帮忙／为我帮忙／替我帮忙（私のために手伝ってくれる）

(19) 握他的手 → 跟他握手（彼の手を握る〔彼と握手する〕）

1.4 房玉清（《实用汉语语法（第二次修订本）》2008：129）

房玉清（2008：129）は“上当”、“告状”、“帮忙”といった述目構造は拡張しえるとした。そしてこの述目構造の間に生起する成分は述目構造全体の対象であると述べた。この記述によって、離合詞全体がその対象に対して意味的影響を与えていると理解することができる。これは朱徳熙（1982：186）においても同様の見解が述べられている。即ち、離合詞“免职”が生起した“把他免了职”という文における“他”は“免”の[受け手]ではないが、“免职”全体の[受け手]である、ということである。

さて、房玉清（2008：129）が挙げた変換例は以下の三つである。変換の際には“使”、“把”、“给”といった前置詞を用いている。

(20) 我上了小李的当 → 小李使我上了当（李さんは私を罠にかけさ

せた)

(21) 我告过小李的状 → 我把小李告了 (私は李さんのことを訴えた)

(22) 我帮过小李的忙 → 我给小李帮过忙 (私は李さんに手助けをしてあげた)

1.5 王海峰 (《现代汉语离合词离析形式功能研究》2011: 193-194)

王海峰 (2011: 193-194) は前置詞“让”、“使”、“为”、“给”、“向”、“对”を使用して“離合詞 A+代名詞／名詞+離合詞 B”が前置詞構文へ変換できることを主張した。

(23) 丢我的人 → 让我丢人 (私に恥をかかせる)

(24) 伤了赵大哥的心 → 让赵大哥伤心 (赵兄貴の心を傷つけさせた)

(25) 劳李四爷的驾 → 让 (使) 李四爷劳驾 (李四に手間をかけさせる)

(26) 泄自己的气 → 让自己泄气 (自分に気を抜かせる)

(27) 帮您的忙 → 为 (给) 您帮忙 (あなたのために手助けをしてあげる)

(28) 做他的主 → 为 (给) 他做主 (彼のために取り持ってあげる)

(29) 告他的状 → 给他告状 (彼に苦情を訴えるということをしてやる)

(30) 问老爷爷好 → 向老爷爷问好 (御爺さんにあいさつをする)

(31) 生我的气 → 对我生气 (私に対して腹を立てる)

以上から、多くの“離合詞 A+代名詞／名詞+離合詞 B”構文が前置詞によって変換できることが分かった。変換時に用いられた前置詞は“给”、“替”、“为”、“让”、“使”、“把”、“跟”、“对”、“向”である。注目すべきは、“離合詞 A+代名詞／名詞+離合詞 B”を前置詞構文に変換する場合、使用可能な前置詞は必ずしも一種類に限定されない、ということである。たとえば“告状”を例にとると、王海峰 (2011: 194) では、“告他的状”に対して、“给”を用いて“给他告状”と解釈しているが、房玉清 (2008: 129) においては、“我告过小李的状”に対して、“把”を

用いて“我把小李告了”としている。従って、“離合詞 A + 代名詞／名詞 + 離合詞 B”の前置詞構文への変換、或いは、意味解釈を行う場合、文脈や発話の場面によって適切な前置詞を選択する必要があるといえる。

2 前置詞構文において生起する離合詞の論理分析

本章では主に前置詞構文における離合詞の意味役割について論じる。考察の対象として取りあげる離合詞は“帮忙”、“告状”、“吃醋”、“生气”の四つである。まず“给”構文において離合詞の“帮忙”が生起した文から考えよう。

2.1 帮忙

(32) 我让他给我帮个忙儿, 帮我在网上查点儿资料。(テレビドラマ《家有儿女 第二部》第86話)

ここでは“他给我帮个忙儿”(彼が私のために一つ手伝いをする)に焦点をあてて論じる。この文では“帮忙”という離合詞と前置詞“给”が共起している。この“给”の後方には“帮个忙儿”という出来事の対象となる“我”が生起している。そして“帮个忙儿”の動作主は“他”であると理解できる。そこで、松村(2005)の理論を参考にし、命題論理(propositional-logic)と述語論理(predicate-logic)を用いた解析を試みる。まず“给”の意味役割について確認しておくことにする。朱德熙(1980: 153)は[授与]について以下の三つの定義を行った。

- ① 授与者と取得者が存在する。
- ② 授与者が与えて取得者が受け取る事物が存在する。
- ③ 授与者が自発的に事物を授与者から取得者へ到らせる。

この定義を頼りにすると“他给我帮个忙儿”は、

- ①' 授与者である“他”と取得者である“我”が存在する。
 ②' 授与者である“他”が取得者である“我”に与える出来事“帮个忙儿”が存在する。
 ③' 授与者である“他”が“帮个忙儿”という出来事を授与者である“他”から取得者である“我”へ到らせる。

と考えることができる。そこで以上の①'、②'、③'を命題論理と述語論理を用いて厳密に形式化することにした。これによって“给”が提供する〔授与〕の意味と“他给我帮个忙儿”における各成分の間の意味関係を厳密に表記することができる。つまり以下のように考える。

まず Chao (2011 (1968): 353) や朱徳熙 (1982: 160) の記述を基にして、“给”を述連構造の一番目の動詞であると見なす。要するに、“给”の意味的な作用域 (scope) は“帮”よりも広いということである⁴⁾。そこで①'「授与者である“他”と取得者である“我”が存在する。」の定義に基づくと以下のような式を書くことができる。

(33) 给' (他, 我,)

スル ～ガ ～ニ ～ヲ

この式は「授与者である“他”が、取得者である“我”に、ある出来事をする」という意味を表している。つまり“给”は、“他”と“我”と“帮个忙儿”の意味関係を指定する役割を果たしている。“给”の右に置かれたブライム“ ”は論理式において“给”が述語であることを示している。なお式には日本語のカタカナを付記したが、これは意味注釈と呼び、論理式に対する解釈の理解を補佐している。そして、②'の「授与者である“他”が取得者である“我”に与える出来事“帮个忙儿”が存在する。」を論理式で表すと次のように考えることができる。

(34) 帮' (他, 忙) & 有' {帮' (他, 忙), 一个}

スル ～ガ ～ヲ 持ツ ～ガ ～ヲ

この式は“帮”（他，忙）が「他が手助けをする」という意を示し、“有”{帮（他，忙），一个}が「それ（彼が手助けをする）が一つという数量を持つ」という意味を示している⁵⁾。なお、“&”は連言（conjunction）の意を示し、“帮”（他，忙）と“有”{帮（他，忙），一个}という命題が同時に成立していることを表している。故にこの(34)の式を(33)に当てはめると次のようになる。

(35) スル ～ガ ～ヲ 持ツ ～ガ ～ヲ

给' [他, 我, 帮' (他, 忙) & 有' {帮' (他, 忙), 一个}]

スル ～ガ ～ニ

～トイウコトヲ

この式は「彼が、私に、他が手助けをし、かつそれ（彼が手助けをする）が一つという数量を持つ」という意味を表している。そして③'の「授与者である“他”が“帮个忙儿”という出来事を授与者である“他”から取得者である“我”へ到らせる。」という定義を論理式で表現すると、

(36) 到' [有' {帮' (他, 忙), 一个}, 我]

到ル

～ガ

21

となり「それ（彼が一つ手助けをする）が私に到る」という意を表している。最後に（35）と（36）の式を組み合わせると（32）の“给我帮个忙儿”の意味を表すので、それを式に反映させると（37）になる。

(37) スル ～ガ ～ヲ 持ツ ～ガ ～ヲ

给'【他, 我, 帮' (他, 忙) & 有' {帮' (他, 忙), 一个} &

スル　～ガ　～ニ

到ル

～ガ

22

到' [有' {帮' (他, 忙), 一个}, 我]]

～トイウコトヲ

この式全体は「彼が私のために一つ手助けをする」という意味を表し

ている。この式の内部にある式を見ると、まず“帮”（他，忙）が「他
が手助けをする」という意を示している。次に、“有”{帮（他，忙），
一个}では、「それ（彼が手助けをする）が一つという数量を持つ」と
いう意を示している。そして“帮个忙儿”という出来事が“我”に到っ
たことを表す式が、“到”[有’{帮（他，忙），一个}，我]”であり、こ
の式は「それ（彼が一つ手助けをする）が私に到る」という意を表して
いる。この部分の式により、第一章で言及した朱德熙（1982：186）と
房玉清（2008：129）の記述から読み取れる、離合詞全体がその対象に
意味的影響を与える、といった見解を厳密に形式化することができた、
と考えられる。

最後に（37）の論理式全体である“给”【他，我，帮’（他，忙）& 有’
{帮’（他，忙），一个} & 到’[有’{帮’（他，忙），一个}，我]】は「彼
が、私に、彼が手助けをし、かつ、それ（彼が手助けをする）が一つと
いう数量を持ち、かつ、それ（彼が一つ手助けをする）が私に到るとい
うことをする」と読む。

ここで注目されたいのは、（32）の“他给我帮个忙儿”の文における
“忙”は、後の“在网上查点儿资料”（ネットで資料を検索する）と同じ
命題内容を含んでいるといえる。つまり、発話者は最初に“忙”を用い
て、自分は彼の手伝いを得ていることを表現した後で、すぐに“帮我
在网上查点儿资料”と発話し、その“忙”の内容を具体的に説明したので
ある。従って、この“他给我帮个忙儿”における“忙”は、具体的な
「手助け」の意であると考えられる。これは、“忙”の前に量詞の“个”
が生起していることから明白である。（37）における論理式で“帮忙”
を、“帮”と“忙”に分けて記述した所以は正にこの点にある。そこで以
下の例を見られたい。

（38）请你帮个忙，要么设法止住我的囁，要么你先说，我等到不打囁

了再说。厄律克西马库说，两个忙我都可以帮。（《柏拉图全集（第二卷）》222 頁）

“两个忙我都可以帮”（この二つの問題はいずれも手助けできる）では、“帮”と“忙”が分離し、かつ“忙”が“帮”の前方に生起しているので、この“帮”と“忙”はそれぞれが具体的な意を有していると見なしえる。また、“忙”には“两个”という数量詞が伴っているが故、特定の意を有する“忙”であることがより判然とする。実際にこの“两个忙”とは、《柏拉图全集（第二卷）》の文脈からいうと、“设法止住我的囁”と“你先说”のことである。従って、“两个忙我都可以帮”での“忙”と“帮”はそれぞれが独立した意味を示していることが分かる。もう一つ例をあげよう。

(39) 自成叫亲兵取来了金创药，又把尚神仙留在山洞中的那位徒弟叫来。他带着田见秀、李过和几个亲兵动手帮医生洗伤，上药，包扎，忙了一阵。（小説《李自成（第一卷）》222 頁）

“他带着田见秀、李过和几个亲兵动手帮医生洗伤，上药，包扎，忙了一阵”（彼は田见秀与李过、そして数名の部下を率いて医者のために傷の洗浄、薬の投与、手当の手伝いをし、それをしばらくの間行った）の箇所を見られたい。ここでの持続動詞“帮”の行為内容は“洗伤”、“上药”、“包扎”の三つである。そして、その後方には“忙了一阵”という表現があるので、この“忙”は“洗伤”、“上药”、“包扎”という出来事を総称し、明らかに具体的な意味を有する“忙”であると見なしうる。そのため“忙了一阵”には一定の時間量を表す“一阵”が生起し、この“一阵”の間において“帮”が〔持続〕を保持し、その間に一頻りの“忙”、即ち“洗伤”、“上药”、“包扎”という出来事が行われたと解しえる。

らを恐れるものですか！)

“我连她们老板的老板的状都告了”における離合詞“告状”は、“状”が前に、そして“告”が後ろへと置かれている。ここでの“告”の意味は「訴える」と解釈することができる。一方、“她们老板的老板的状”の意は「彼女らのボスのボスの悪さ」と解しえる。従って、この例における“告状”は、両者が具体的な意を表現しえるが故、分離かつ倒置が可能となったと推測しえる。もうひとつ例をあげよう。

(43) “告你的状。”她的心一沉，但仍然镇定地问：“告我的状？ 我有什么状她告？ 我都没怎么见过她。”(小説《青马竹梅》267 頁)

“我有什么状她告”(わたしの何の苦情を彼女が訴えるというの)では“告状”が分離し、かつ“状”が“告”よりも前に生起している。故に、この文における“状”は「苦情」という意味を、そして“告”は「訴える」という意味を表し、それぞれが独立した意味を保持していると考えられる。

次は“告状”が前置詞“跟”構文の中に生起した例をあげよう。

(44) 说两句你就走，怎么着，我弄得她离家出走了，回头又跟我哥告状！（テレビドラマ《媳妇的美好宣言》第11話）

“回头又跟我哥告状”の“跟”には“我哥”が後続しており、これは“告状”の対象であることが分かる。そして、この文の引用先であるドラマ《媳妇的美好宣言》の展開に基づくと、この“告状”の[動作主]は“你”である。よって、“跟我哥告状”は「あなたが、私の兄に、私の苦情を訴える」という意であると考えられる。そして“状”は「苦情」といった具体的な命題内容を表すと理解できるので、以下のような論理式を構成することが可能である。

(45) 訴エル ～ガ ～ヲ 対スル ～ガ ～ニ

跟' [你, 我哥, 告' (你, 状) & 跟' {告' (你, 状), 我哥}]

スル ～ガ ～ニ

～トイウコトヲ

この式は、まず“告' (你, 状)”が「あなたが苦情を訴える」という意を表している。次に“跟' {告' (你, 状), 我哥}”が「それ (あなたが苦情を訴える) が私の兄に対する」という意を表している⁶⁾。そして“跟' [你, 我哥, 告' (你, 状) & 跟' {告' (你, 状), 我哥}]”が「あなたが、私の兄に、あなたが苦情を訴え、かつ、それ (あなたが苦情を訴える) が私の兄に対するということをする」という意味を示している。

今度は“告状”が前置詞“向”と共に起した例について考えてみよう。

(46) 客户向老板告状, 老板自然会着急, 也自然想知道到底为什么要告你的状, …… (小説《浮沉》199 頁)

この文では前置詞の“向”が“告状”と共に起している。この“向”は“告状”という出来事の方角先が“老板”にあることを明示している。また、文脈上“状”は特定の「苦情」という意味を保持していると考えられる。これは“客户向老板告状”の後に生起する“老板自然会着急, 也自然想知道到底为什么要告你的状” (社長は当然の如く気をもむだろう。そして自然となぜ顧客があなたの苦情を訴えたのかを知りたがる) という命題表現からも明瞭である。よって、“客户向老板告状”が示す意味は「顧客が、社長に、苦情を訴える」と解釈できる。従って論理式を用いると、

(47) 訴エル ～ガ ～ヲ 向ク ～ガ ～ニ

向' [客户, 老板, 告' (客户, 状) & 向' {告' (客户, 状), 老板}]

スル ～ガ ～ニ

～トイウコトヲ

といった表記が妥当であると思われる。(47) の論理式は、まず、“告' (客户, 状)”が「顧客が苦情を訴える」という意を表している。次に、

“向’ {告’ (客户, 状), 老板}” が「それ (顧客が苦情を訴える) が社長に向く」という動作行為を表している。そして、式全体の “向’ [客户, 老板, 告’ (客户, 状) & 向’ {告’ (客户, 状), 老板}]” が示す意味は、「顧客が、社長に、顧客が苦情を訴え、かつ、それ (顧客が苦情を訴える) が社長に向くということをする」と解しえる。

2.3 吃醋

(48) 你总这么专注工作, 我快要跟你的工作吃醋了! (テレビドラマ
《第二十二条婚规》第 33 話)

(君がずっとこんなに仕事に没頭していると、僕は君の仕事にやきもちを焼きそうだよ!)

この傍線部の文では、“吃醋” の前に前置詞の “跟” が生起して、“吃醋” の対象である “你的工作” を導いていることが分かる。従って “吃醋” と直接関わる成分のみを抽出して論理式で示すと以下ようになる。

(49) 焼ク ~ガ ~ヲ 対スル ~ガ ~ニ
跟’ [我, 你的工作, 吃’ (我, 醋) & 跟’ {吃’ (我, 醋), 你的工作}]
スル ~ガ ~ニ ~トイウコトヲ

この論理式は “吃’ (我, 醋)” が「僕がやきもちを焼く」という意味を表し、“跟’ {吃’ (我, 醋), 你的工作}” が「それ (僕がやきもちを焼く) が君の仕事に対する」という意味を表し、“跟’ [我, 你的工作, 吃’ (我, 醋) & 跟’ {吃’ (我, 醋), 你的工作}]” が「僕が、君の仕事に、僕がやきもちを焼き、かつ、それ (僕がやきもちを焼く) が君の仕事に対するということをする」という意を示している。

なお、この式で “吃醋” に対して、“吃” を「焼く」と、そして “醋” を「やきもち」と解釈したが、これは (48) の用例の引用先であるドラマ《第二十二条婚规》を見ると、特定の “你的工作” に対して “吃醋”

を行っていることが容易に理解できる。

そこで以下のような例から“吃”と“醋”はそれぞれが特定の意味を表しえることを確認しよう。

- (50) A：今天晚上啊，可能是最后一夜了，夫人要回来了。B：是呀，他是你的正派夫人，我算什么。A：这个醋可吃不得，我的夫人也是此公的干女儿。（テレビドラマ《京华烟云》第36話）

この“这个醋可吃不得”（そのやきもち焼いてはならない）は発話者Aが浮気相手の発話者Bに対して発したセリフである。ここでの“吃醋”は“吃”と“醋”が分かれ、かつ“醋”が“吃”の前に置かれている。そして、“醋”の前方には“这个”が限定語として生起しているので、特定の“醋”であると見なしうる。つまり、「このやきもち」という意を示していると解釈する。よって、“吃醋”の“吃”と“醋”はそれぞれ具体的な意を有した成分であることが判然とし、(48)の“跟你的工作吃醋”に対する論理式の(49)“跟’[我，你的工作，吃’（我，醋）& 跟’[吃’（我，醋），你的工作]”は理にかなった表記であると見なしうる。

2.4 生气

- (51) 不生气啊，咱甭跟她生气，抚养权我一定要回来！（テレビドラマ《媳妇的美好宣言》第18話）

この例では“咱甭跟她生气”（私たちは彼女に対して腹を立てる必要はない）の箇所焦点を当てて論じる。考察の便宜を図り“甭”を省略して分析する。ここには離合詞の“生气”と前置詞の“跟”が共起している。“跟”は、意味上、“生气”の対象となる“她”を導く役割を果たしている。故に“咱跟她生气”の論理式は以下のような表記となる。

- (52) 立テル ～ガ ～ヲ 対スル ～ガ ～ニ
 跟' [咱, 她, 生' (咱, 气) & 跟' {生' (咱, 气), 她}]
 スル ～ガ ～ニ ～トイウコトヲ

この式は、“生' (咱, 气)”が「私たちが腹を立てる」という意味を表し、“跟' {生' (咱, 气), 她}”が「それ（私たちが腹を立てる）が彼女に対する」という意味を表し、“跟' [咱, 她, 生' (咱, 气) & 跟' {生' (咱, 气), 她}]”が「私たちが、彼女に、私たちが腹を立て、かつ、それ（私たちが腹を立てる）が彼女に対するということをする」という意を示している。

また(52)の論理式は恣意的に導き出しえたのではなく、“咱跟她生气”における“生”と“气”がともに独立した意を有しているためである。そこで以下のような例を用いて“生气”における“生”と“气”が独立して特定の意味を表しえることをはっきりと証明しよう。

- (53) 你气生完了吗？ 生完了，就洗洗脸，吃饭吧。（杨庆蕙主编 1995：635 頁）

（怒りは収まった？ そうなら、顔を洗ってご飯を食べて。）

上記の“你气生完了吗”では“生气”が分離し、かつ“气”と“生”が倒置している。また、“你气生完了吗”は疑問文なので“你生气”という出来事が(53)の発話時点よりも以前に生じていたと解しえる。故に、“你气生完了吗”における動作主の“你”が発する“气”は「怒り」という特定の意味を有していると理解しえる。更に例をあげよう。

- (54) A：那你不生我气了吧。B：不生了。（テレビドラマ《幸福满满》第18話）

この“那你不生我气了吧”（じゃあ君はぼくに対して腹を立てていないよね）における“生气”が示す意味は“生”「立てる」と“气”「腹を」に分けて解釈することができる。また、“那你不生我气了吧”という文

に対しての返答は“不生了”（立てていないよ）である。従って、この“不生了”における“生”は、“气”の意が含まれているといえる。要するに、発話者は（54）の場面において、“气”が表す意味が何であるのかを把握しているので、既知の情報として省略したのである。

最後にもう一つ例をあげよう。

（55）A：爸，您就别生我气了呗。B：我没生你气。A：那您也别生二喜的气了呗。B：我也没生二喜的气。A：那你也别生我妈的气了？ B：我也没生……我生的就是她的气！（テレビドラマ《小房东》第12話）

“我生的就是她的气”（おれが腹を立てているのは正にあいつに対してなんだ!）では“我生的”と“她的气”の間に動詞の“是”が生起している。つまり（55）の“我生的”が主語、そして“她的气”が目的語となっていることが看取できる。そのため、“生”と“气”はそれぞれ独立した意味を有していることを明晰に理解しえる。

3 “離合詞 A + 代名詞／名詞 + 離合詞 B”構文の論理分析

本章では第一章、二章の考察を基にし“離合詞 A + 代名詞／名詞 + 離合詞 B”構文について詳述する。用例は前章と同様に“帮忙”、“告状”、“吃醋”、“生气”が生起した文を用いる。まず“帮忙”について検討することにして。

3.1 帮忙

（56）好，我帮你这个忙！（テレビドラマ《等待绽放》第15話）

“我帮你这个忙”（私があなたのためにその手助けを行う）の“帮忙”の間には“你”と“这个”が生起している。この“你”は“帮这个忙”の

である。この場面は“大赤包”が旦那の“冠晓荷”に対して発した言葉である。銭家の長男が日本軍を故意に殺害したことを日本軍へ密告してやろう、と企んだのである。故に“告他一状”を行う動作主は“冠晓荷”(你)であり、“告状”される対象は“他”であると解しうる。そして“告他一状”には“一”が生起しているので、特定の「一つの悪事」の意であることがより確かとなる。そこでこの文に対して論理表記を行うと、

(59) 訴エル ～ガ ～ヲ 持ツ ～ガ ～ヲ
 给' 【你, 他, 告' (你, 状) & 有' {告' (你, 状), 一} &
 スル ～ガ ～ニ
 到ル ～ガ ～ニ
 到' [有' {告' (你, 状), 一}, 他】
 ～トイウコトヲ

となる。この論理式は“告' (你, 状)”が「あなたが苦情を訴える」という意味を表し、“有' {告' (你, 状), 一}”が「それ（あなたが苦情を訴える）が一つという数量を持つ」という意味を表し、“到' [有' {告' (你, 状), 一}, 他]”が「それ（あなたが苦情を一つ訴える）が彼に到る」という意味を表し、“给' 【你, 他, 告' (你, 状) & 有' {告' (你, 状), 一} & 到' [有' {告' (你, 状), 一}, 他】”が「あなたが、彼に、あなたが苦情を訴え、かつそれ（あなたが苦情を訴える）が一つあり、かつ、それ（あなたが苦情を一つ訴える）が彼に到るということをする」という意を示している。

次は“告状”の間に“告状”の対象である“施蒂夫”が挿入され、かつ、その“告施蒂夫的状”が述語句として“向”の前置詞構文において生起した文について検討してみよう。

(60) 他打电话叫乔莉进来, 让她把晶通的进展写得详细一些, 成功的把握写得大一些, 说明市场部的配合如何至关重要, 等等, 然后

CC给自己、欧阳贵、何乘风、市场总监斯科特、副总裁施蒂夫、以及美国总部的汤姆。听到这些人的名字，乔莉不禁大吃一惊，这不是明着要向美国总部告施蒂夫的状吗？（小说《浮沉》73页）

問題となるのは「向美国总部告施蒂夫的状」（彼女はアメリカ本社にスティーブの悪さを訴えてやる）の部分である。この文は“告状”の間に“施蒂夫”が生起しているが、この“施蒂夫”は“告状”という出来事の対象であると見なしえる。なお、“告状”の動作主は文脈上“乔莉（她）”である。注目に値することは、三行目から四行目を見ると“告状”という出来事の内容が詳細に表現されていることである。即ち、“CC 给自己、欧阳贵、何乘风、市场总监斯科特、副总裁施蒂夫、以及美国总部的汤姆。”（自分（“他”）、欧阳贵、何乘风、マーケット部総理スコット、副総裁スティーブ、およびアメリカ本社のトム宛てとして全体メールを送信する）である。従って、“向美国总部告施蒂夫的状”における“状”は具体的な“施蒂夫”についての「悪さ」であることが看取しえる。よって“告施蒂夫的状”の部分の論理式は以下ようになる。

(61) 訴エル ～ガ ～ヲ 到ル ～ガ ～ニ
給' [她, 施蒂夫, 告' (她, 状) & 到' {告' (她, 状), 施蒂夫}]
スル ～ガ ～ニ ～トイウコトヲ

この式は、“告’ (她, 状)” が「彼女が苦情を訴える」という意味を表し、“到’ 告’ (她, 状), 施蒂夫)” が「それ (彼女が苦情を訴える) がスティーブに到る」という意味を表し、“給’ [她, 施蒂夫, 告’ (她, 状) & 到’ 告’ (她, 状), 施蒂夫)” が「彼女が、スティーブのために、彼女が苦情を訴え、かつ、それ (彼女が苦情を訴える) がスティーブに到るということをする」という意を示している。

本稿は論理的な角度から主に“離合詞 A + 代名詞／名詞 + 離合詞 B”
構文について考察した。第一章では、離合詞に代名詞や名詞が挿入され

る文は、意味上、前置詞構文に変換できることを確認した。

第二章では、離合詞が前置詞構文において生起する文を命題論理と述語論理によって形式化し、各用例における離合詞は分離の有無を問わずそれぞれの成分が特定の意味を表すことを提示した。

最後の第三章では、これまでの各章の考察を総括し、“離合詞 A+代名詞／名詞+離合詞 B”構文を論理式で形式化した。その結果、離合詞 A+代名詞／名詞+離合詞 B”構文における離合詞もそれぞれが特定の意を表していることが判然とした。

注

- 1) 本稿の考察対象となる“離合詞 A+代名詞／名詞+離合詞 B”構造の用例には、離合詞 A と離合詞 B の間に指示代名詞や数量詞、或いは時態助詞の“了”や構造助詞の“的”を伴う文も存在する。
- 2) この“别开他的玩笑”には“别”が生起しているので、“跟他开玩笑”が表す意味とは異なるが、“开他的玩笑”が前置詞“跟”を用いて変換できることの証明となるので引用した。
- 3) “近宾语”を「近置目的語」と、そして“准定语”を「仮性連体修飾語」と訳したが、これは『文法講義』（朱德熙著、杉村博文・木村英樹訳：1995）に従った。
- 4) Chao (2011 (1968): 353-358) では「V1-V2 の下位意味は V1 で決定される」と述べ、多くの用例を挙げている。その内、“在”、“从”、“到”、“打”、“离”、“往”、“对”、“向”、“给”、“替”、“为”、“跟”、“比”、“叫”等が V1 として生起している。そのため、これらの成分は、述連構造全体から見ると、V1 の役割を担い、かつ、V2 の意味を支配していると考えられる。故に、V1 の作用域が V2 の作用域よりも広い、と考えて論理表記を行うことは妥当な分析であると言える。

また、朱德熙（1982：160）は「中国語の前置詞は多くが動詞の性質を有している。従って、前置詞は述詞とは見なさないが、“前置詞+目的語+述語性成分”の形式は、述詞によって構成される述連構造の性質にきわめて近い。故に、述連構造の一種であると思えてよい。」と述べている。重要なことは、前置詞単独ではなく、“前置詞+目的語+述語性成分”という構造全体から見た際に、その前置詞は述連構造の V1 と同様の役割を果たす、と推測しえることである。

- 5) 論理式における括弧は“()”、“{ }”、“[]”、“【 】”、“《 》”の五つを使用する。そして“()”が最も作用域が狭く、“《 》”が最も作用域が広いと仮定する。即ち下記の(a)のよう考える。

(a) () < { } < [] < 【 】 < 《 》

(a) は、“()”は“{ }”より作用域が狭く、“{ }”は“[]”より作用域が狭く、“[]”は“【 】”より作用域が狭く、“【 】”は“《 》”より作用域が狭いことを表している。また、“有”[帮] (他、忙、一个|) において“有”が用いられているが、これは『論理哲学論考』(ウィトゲンシュタイン著、野矢茂樹訳:184) における記述を拠り所としている。野矢は論理形式について次のような注釈を与えている。

「ある対象の論理形式とは、その対象がどのような事態のうちに現れうるか、その論理的可能性の形式のことである。たとえばある対象 a が赤い色をしていたとしよう。対象 a にとって赤いという色は外的性質であり、他の色をもつこともありえた。つまり、〈a は青い〉〈a は黄色い〉等の事態も可能である。このことを、「対象 a は色という論理形式をもつ」と言う。……」

故に、以下の論理式において“有”を用いた場合には、以上の「論理形式」の概念に基づいて使用したとする。

- 6) 跟' [告] (你、状)、我哥| における“跟”を「対する」と解釈したが、これは北京大学中文系 1955、1957 级语言班编 (1982:202) と王还主编 (1997:311) の前置詞“跟”に対する記述を参考にした。つまり、北京大学中文系 1955、1957 级语言班编 (1982:202) は「動作に関わる対象を導く。時に“向”や“对”といったような意を示す」と述べ、王还主编 (1997:311) は「動作と関係のある相手を導き出す。“对”や“向”の意を有する。」と述べている。以下の“跟”構文に対する論理式も同様に考える。

参考文献

- ウィトゲンシュタイン著、野矢茂樹訳 2003. 『論理哲学論考』。東京：岩波文庫。
朱德熙著、杉村博文・木村英樹訳 1995. 『文法講義』。東京：白帝社。
中山時子監修 1990. 『中国語離合詞 500』。東京：東方書店：22 頁。
松村文芳 2005. 「「把構文」と「被構文」に用いられる「给」の意味と論理」。大東文化大学語学教育研究所。
北京大学中文系 1955、1957 级语言班编 1982. 《现代汉语虚词例释》。北京：商务印书馆：202 页。

- 房玉清 2008. 《实用汉语语法（第二次修订本）》。北京：北京语言大学出版社：129 页。
- 王海峰 2011. 《现代汉语离合词离析形式功能研究》。北京：北京大学出版社：193-194 页。
- 王还主编 1997. 《汉英双解词典》。北京：北京语言大学出版社：311 页。
- 杨庆蕙主编 1995. 《现代汉语离合词用法词典》。北京：北京师范大学出版社：635 页。
- 朱德熙 1980. 《现代汉语语法研究》。北京：商务印书馆：153 页。
- 1982. 《语法讲义》。北京：商务印书馆。
- Chao, Yuenren. 2011 (1968). *A Grammar of Spoken Chinese*. 北京：商务印书馆。

用例の出典

[小説]

- 艾米 2010. 《竹马青梅》。北京：文化艺术出版社。
- 柏拉图著、王晓朝訳 2003. 《柏拉图全集（第二卷）》。北京：人民出版社。
- 崔曼莉 2008. 《浮沉》。西安：陕西师范大学出版社。
- 老舍 1998. 《四世同堂》。北京：人民文学出版社。
- 杨庆蕙主编 1995. 《现代汉语离合词用法词典》。北京：北京师范大学出版社。
- 姚雪垠 2005. 《李自成》。北京：人民文学出版社。

[ドラマ]

- 林丛 2005. 《家有儿女 第二部》。北京电视台。
- 张子恩 2005. 《京华烟云》。中国国际电视总公司。
- 许瑞生 2006. 《小房东》。北京佳桐世纪影视文化传播公司。
- 刘家成 2012. 《离婚前规则 DVD 版》。浙江影视集团。
- 周小刚 2012. 《媳妇的美好宣言》。北京华录百纳有限公司。
- 宋洋、蒋家骏 2013. 《等待绽放》。金英马影视文化股份有限公司。
- 金琛 2013. 《第二十二条婚规》。千乘影视、巨力圣依、本山传媒。
- 丁黑 2013. 《独生子女的婆婆妈妈》。上海新文化传媒集团股份有限公司。
- 刘凯 2013. 《幸福满满》。北京天瑞派明文化传媒有限公司。